

純正 リモコンエンジンスターター

取扱説明書

部品番号: C920 V7 620A

この度はマツダ純正用品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
常に最良の状態でご使用頂くために、ご使用になる前に本取扱説明書をお読み頂き、
記載された内容に従ってお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

＜安全に正しくお使い頂くために＞

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への
危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな注意事項を表示していま
す。

想定される危害や損害の程度によって、注意事項を「警告」と「注意」の2つに区分し、
注意内容の性質を絵表示で示しています。

尚、確実な車両取付けを実施するため、取付けはマツダ特約店またはマツダ特約店
が指定した販売店でお願い致します。

お使いになっている車両・製品を譲渡されたり、貸与されるときには、新しく所有者と
なれる方に安全な正しい使い方を知って頂くため、この取扱説明書をお渡しくださ
い。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡 または重症を負う可能性が想定される内容であることを 示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷 害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの 発生が想定される内容であることを示しています。
アドバイス	お車のために必ずお守りください。守らないと車両破損 につながるおそれや正規性能を確保できないことがあり ます。
知識	お車を使う上で知っておいていただきたいこと。守らな いと車両破損につながるおそれや正規性能を確保できな いことがあります。

マツダ株式会社

広島県安芸郡府中町新地 3-1

No. : ZZ092-00661-00

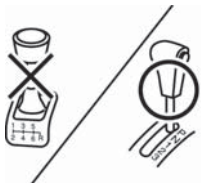
目次

1. リモコンエンジンスターターの特長について	3
2. 安全のために必ずお守りください	3
3. 法令上のご注意	6
4. 使用上のご注意	7
5. 各部の名称	9
6. ディスプレイ表示	10
7. リモコンエンジンスターターの基本機能	11
8. 電池切れ警告と電池交換方法	13
9. 基本操作	14
9-1. エンジン始動操作	15
9-2. エンジン停止操作	18
9-3. 暖機残り時間チェック	20
9-4. 車両状態チェック	21
9-5. 暖機時間の設定	22
9-6. エンジン始動【+リアデフォッガー強制作動】操作	23
9-7. カーファインド機能	25
10. 故障かな?と思ったら	26
11. アフターサービス	31
12. 諸元	31

1. リモコンエンジンスターターの特長について

- リモコンエンジンスターターは、離れた場所からリモコンでエンジンを始動することができます。
- 予めエアコンを作動状態にしておくと、車室内の冷暖房を事前に行うことができます。
- 操作した場所からお車の状態を確認することができます。

2. 安全のために必ずお守りください

 警告 マニュアルミッション車には取付けないでください。 ● この製品は、ハーネスの設定された指定車以外への取付けはしないでください。 ● この製品は、取付車種が AT/CVT 車のみ指定されています。マニュアルミッション車は危険ですので、取付けないでください。	
屋内ではエンジンを始動しないでください。 ● 排気ガスの充満しやすい場所、例えば換気の悪いガレージ内や地下駐車場、パーキングタワー内では絶対にエンジンを始動させないでください。排気ガスによる中毒のおそれがあり危険です。	
車両周囲の安全を確認してください。 ● 車両周囲の安全を十分に確認できる場所でご使用ください。特にお子様やペットが近くにいると、思わぬ事故につながります。	
分解や改造をしないでください。 ● 分解及び改造、指示された位置以外の取付けは絶対にしないでください。正常に作動せず、故障や事故につながります。また、保証の対象外となります。	

傾斜地に駐車した場合は、リモコンエンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。

- エンジンの振動等で車両が動き出し、重大事故につながるおそれがあります。



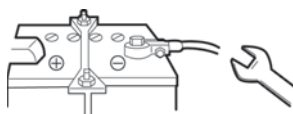
公道でエンジンを始動しないでください。

- 公道でのエンジン始動は絶対にしないでください。(6ページ「道路交通法に関するご注意」参照)



安全な整備を行うために。

- 車両の点検や整備を行う際は、車両バッテリーの(-)ターミナルを外してください。ガソリンスタンド等の車両の点検整備中は、絶対にリモコンでの始動はしないでください。回転部分に手や衣服が巻き込まれる等、事故の発生のおそれがあります。エンジンルームの点検は、ボンネットスイッチを押したまま作業しないでください。



リモコンは、安全な場所に保管してください。

- リモコンは、お子様の手の届かないところに保管してください。リチウム電池を飲み込んでしまい、窒息したりするおそれがあります。



車内に人などを乗せたままにしないでください。

- 思わぬ急発進などの防止のため、人（特にお子様）やペットが車内にいるときには、絶対にエンジンを始動しないでください。リモコンエンジンスターターの設定によりエンジンが自動で停止した場合、車内の温度が上がり過ぎたりして危険です。また、子供がスイッチを操作して不適切な温度に設定することも考えられます。



火災防止のために。

- 燃えやすい物の近く（オイルや枯れ草など）ではエンジンを始動しないでください。高温になった排気管や排ガスが原因で、火災になるおそれがあります。お車にボディカバーを掛けたままでエンジンを始動しないでください。高温になった排気管や排ガスが原因で、火災になるおそれがあります。



水をかけないでください。

- リモコンは日常生活防水になっていますが、水没等で水に浸かると内部まで浸水して故障の原因になるおそれがあります。



日常点検を行うときは、暖機運転直後に行わないでください。

- お車の暖機運転を行った直後に運行前点検を行うと、ヤケドをするおそれがあります。エンジン停止後、5分以上経過し、ヤケドのおそれが無いか各部品の高さを確認した上で行ってください。



車両駐車時の確認事項

- エンジン始動時の事故防止のため、車両の駐車時は、確実に下記の安全確認を実施してください。
- パーキングブレーキをかけてください。
- シフトレバーを「P」位置にしてください。
- アドバンストキーが車内に無いことを確認してください。
- 全てのドアと窓を閉めてください。
- ドアを施錠(ロック)してください。
- ボンネットが閉まっていることを確認してください。
- ワイパーは「OFF」にしてください。
- オートライト装着車は、オートライトを「OFF」にしてください。
- ステアリングロックがロックされていることを確認してください。



3. 法令上のご注意

道路交通法に関するご注意

【公道でのエンジン始動禁止】

公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反になりますので、私有地のみでご使用ください。

- 公道とは、不特定多数の車が出入りする場所を含みます。

例：公共施設・月極め・スーパーなどの駐車場、神社・寺などの境内、河川敷等。

各自治体の条例に関するご注意

リモコンエンジンスターターの使用にあたっては、各自治体の条例等を遵守してください。罰則が適用される場合があります。

電波法に関するご注意

【分解、改造または海外での使用禁止（電波法違反）】

リモコンエンジンスターターのリモコンおよびコントローラーは、電波法に基づく特定小電力設備としての技術基準適合証明を受けています。次の事柄を必ずお守りください。

- リモコンおよびコントローラーの表面に貼られている技術基準適合ラベル(9 ページ参照)は、剥がさないでください。剥がしますと、適合証明の効力がなくなり、リモコンおよびコントローラーは使用出来ません。
- リモコンおよびコントローラーの分解・改造はしないでください。これらの行為は不正改造として電波法に基づき罰せられることがあります。
- この製品は国内専用です。海外では使用しないでください。(This product is for the use only in JAPAN.)
- お客様は電波法に係わる免許申請等の手続きは必要ありません。

運行前点検について

運行前点検は法令により、自動車を使う人が1日1回運転前に実施するよう義務付けられています。リモコンエンジンスターターでエンジンを始動した場合でも、出発前に必ず運行前点検を実施してください。

4. 使用上のご注意

使用環境について

- 強力な電波が出ている場所の近くや障害物がある場合は、リモコンからの電波がコントローラーに届かない場合があります。(コントローラーからリモコンへの応答も同様に届かない場合があります。)
- 極寒の気象条件下ではエンジンがかかりにくいことがあります。

リモコンドアロック付車について

- リモコンエンジンスターターによりエンジンがかかっている間も、車両のキーレスエントリーまたはアドバンストキーレスエントリーでドアをロック(施錠)あるいはアンロック(開錠)することが可能です。ただし、エンジンノイズ等の影響によりドアロック、ドアアンロックが作動しない場合は、エンジンを停止させてからキーレスエントリーまたはアドバンストキーレスエントリーの操作を行ってください。

純正バグアラーム付車について

- 車両の純正バグアラームをセットした後に、リモコンでエンジンを始動しても、バグアラームは動作を継続し、セット状態を維持します。そのため、ドアが開くなどの警報条件が成立すると警報を行います。ただし、リモコンでエンジンが始動した後にバグアラームをセットすることは出来ません。

オートライト付車について

- オートライト付車は、ライトスイッチが“AUTO”位置にあると、夜間リモコンによりエンジンを始動するとライトが点灯しますが、暖機時間終了後にエンジンが自動停止すると同時にライトも消灯し、バッテリー上がりを防止します。しかし、光害防止のために夜間でのリモコンによるエンジン始動は、オートライトスイッチを“OFF”にして使用してください。

迷惑なアイドリングはしないでください

- 環境保護、省エネ、周りに迷惑をかけないためにも必要以上のアイドリングは行わないでください。

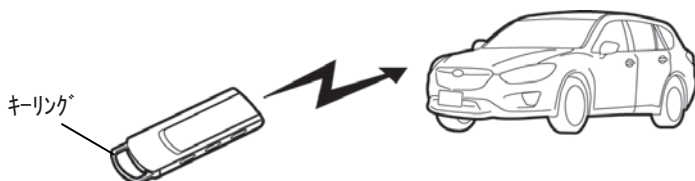
リモコンの取扱について

リモコンは携帯電話等と同様に精密な電子部品です。破損・故障の原因となりますのでリモコンの取扱いには、次のことをお守りください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多いところ、極端な高温（ダッシュボードの上など）、極端な低温（スキー場などでの車内放置）での保管または使用は避けてください。
- 直接水がかかるような場所での保管または使用をしないでください。
- 床に落としたり、硬いものにぶついたり、強い衝撃を与えないでください。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を染み込ませた布を絞ってから拭いてください。（ベンジン、シンナー、化学雑巾等は絶対に使用しないでください。）
- リモコンのキーリング部に多数のキーを取付けたり、ポケットの中に入れたまま座ったりするとケースが変形したり破損することがあるのでお止めください。
- リモコンを持った状態で、キー等が車両に触れると静電気放電により、故障の原因となることがありますので、静電気の発生しやすい時期には、ご注意ください。
- 電池カバーのつめが確実にロックされていないと送信機内部に水が入り故障の原因となりますので、確実にロックしてください。
- 航空機内や病院など使用を禁止されている区域では、本製品を使用しないでください。
- 電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。
- 医療機関内では、各医療機関の指示に従ってください。
- 航空機内での使用など禁止行為をした場合、法令により罰せられる場合があります。

アドバイス

- 周囲の状況により異なりますが、リモコンの持ち方で電波の到達距離は変化します。一般的には、キーリング側を持ちリモコンを車両に向けて使用するほうが、電波が遠くまで届きます。



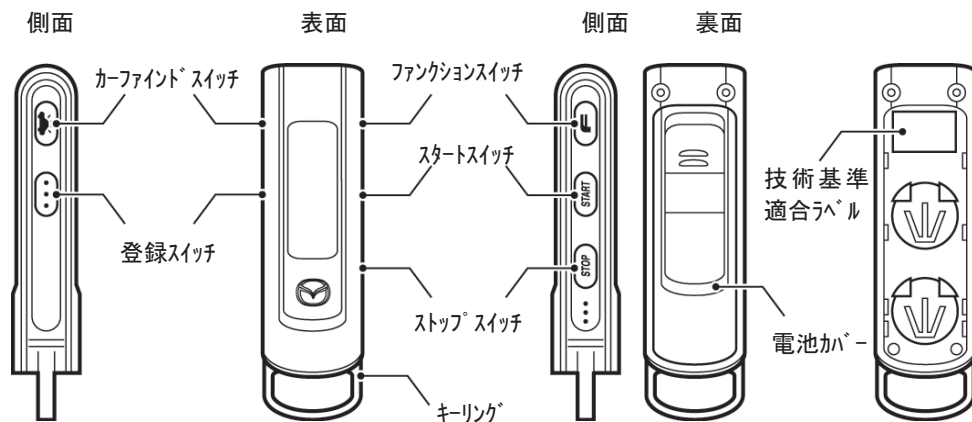
5. 各部の名称

リモコン

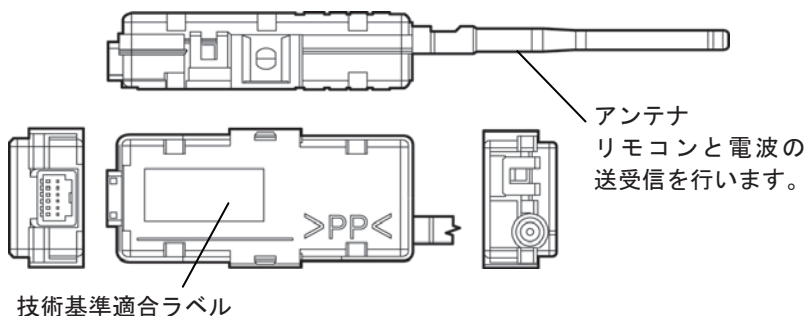


注意

- リモコンは、お子様の手の届かないところに保管してください。リチウム電池を飲み込み、窒息したりするおそれがあります。
- リモコンを落としたり、硬いものにぶついたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンに水をかけたり、冠水・水没させると故障の原因になります。



コントローラー



知識

- コントローラーの取付位置は車種によって異なります。

6. ディスプレイ表示



ディスプレイ表示	名称	意味
	アンテナマーク	電波受信時に点灯します。
	送信マーク	電波送信時に点滅します。
	受信マーク	電波受信時に点滅します。
	送信エラーマーク	同一周波数帯の電波が使用されているとき点灯します。
	電池マーク	電池残量が低下した時に点灯します。
	時間表示	暖機時間を表示します。
	温度表示	車室内の温度を表示します。
	カーファインド表示	カーファインド操作時に点灯します。
	エラー表示	エラー発生時に各種エラー内容を表示します。 ⇒p.16
	エンジンマーク	エンジン始動時、作動時に点灯します。
	RUN マーク	エンジン始動時、作動時に点灯します。
	STOP マーク	エンジン停止時に点灯します。
	リアデフォッガーマーク	リアデフォッガー作動時に点灯します。
	車両マーク	送信操作時に点灯します。
	ボンネットマーク	送信操作時に点灯します。ボンネットが開いていると点灯しません。
	ドア閉マーク	送信操作時に点灯します。全てのドアが閉じていると点灯します。
	ドア開マーク	いずれかのドアが開いていると点灯します。

※各表示の内容詳細については、各項目を参照してください。

7. リモコンエンジンスターターの基本機能

エンジン始動・停止機能

リモコンによるエンジン始動・停止、タイマー(10分または30分に設定可能)による自動停止機能を備えています。また、p. 14 の条件が成立している時にエンジン始動が行えます。予めエアコンを作動状態にしておくと、車室内の冷暖房を事前に行えます。



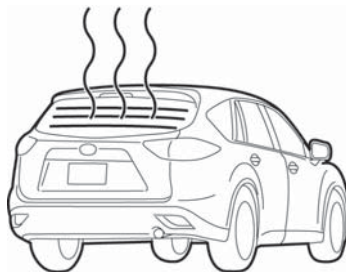
エンジンの始動⇒p. 15

エンジンの停止⇒p. 18

※ハイブリッド車の場合、ハイブリッドシステムが車両条件によりエンジンの始動・停止を自動制御します。よって、リモコンエンジンスターターでエンジン始動操作をした場合でもエンジンが始動しない場合があります。また、タイマーの設定時間に満たない場合でもハイブリッドシステムがエンジン停止や再始動をする場合がありますが、故障ではありません。

リアデフォッガー作動機能

リモコンエンジンスターターでエンジンを始動した時の車室内温度が 5℃以下であった場合、自動的にリアデフォッガーが作動します。また、リモコンでエンジンを始動させる際に、強制的にリアデフォッガーを作動させることも可能です。



アドバイス

- エンジン停止にてリアデフォッガーは自動的に停止します。
- 一部車種ではリアデフォッガーが作動してから 15 分経過後にリアデフォッガーは自動的に停止します。
- リモコンでエンジンを始動した後に、車室内温度が 5℃以下となっても、リアデフォッガーは自動的に作動しません。リアデフォッガーを作動させたい場合は、一旦エンジンを停止してから、リモコンでエンジン始動【+リアデフォッガー強制作動】の操作をしてエンジンを始動させてください。
- リモコン操作によりリアデフォッガーを停止することは出来ません。
- 一部車種では、リモコンエンジンスターターによるリアデフォッガー作動時に、車両インジケータは点灯しません。

カーファインド機能

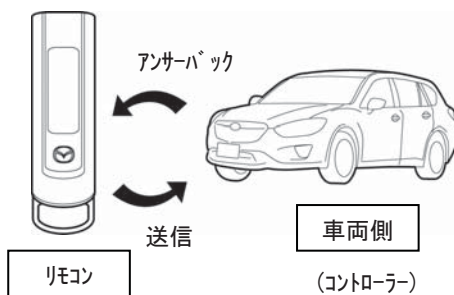
リモコンでカーファインド操作を行うと、ハザードランプが2回点滅し、車両の場所を確認することができます。広い駐車場等で、車両を探す場合に便利な機能です。



カーファインドの操作方法
⇒p. 25

アンサーバック機能

この製品はリモコンと車両側(コントローラー)で双方向の通信を行います。リモコンの液晶モニターで、エンジン始動・停止・暖機残り時間・車室内温度・リアデフォグの作動の確認ができます。



知識

電波法による規制

1. ご使用になる地域周辺で、本機で使用する電波周波数帯に近い電波が発信されている場合、電波法の規制によりリモコンとコントローラー間の送受信が制限されます。その場合、リモコンには送信エラーや受信エラーが表示されます。
2. リモコンの各スイッチの連続操作は、液晶モニターが消灯した後に行ってください。電波法により2秒以内の連続送信は規制されております。
3. 送信エラーが表示された場合、周囲の電波状況で送信を規制されております。液晶モニターの表示が消えてからリモコンの操作をしてください。
4. コントローラー側でリモコンからの電波を受信後、周囲の電波状況によりコントローラーからリモコンへのアンサーバック送信が制限された場合、エンジンが始動していてもリモコンの液晶モニターには受信エラーが表示されます。

8. 電池切れ警告と電池交換方法

電池が消耗した場合、スイッチ操作を行うと液晶モニター部の「電池切れ警告」が点灯します。この場合、必ず2個同時に新しい電池に交換してください。特に低温時には性能が低下します。

使用電池：リチウム電池 CR2032/2 個



- ①電池カバーのつめの部分をスライドしてカバーを取外します。

アドバイス

固くてスライドしない場合は、布を巻いたマイナスドライバーなどで、スライド部分下のくぼみを利用してスライドさせてください。

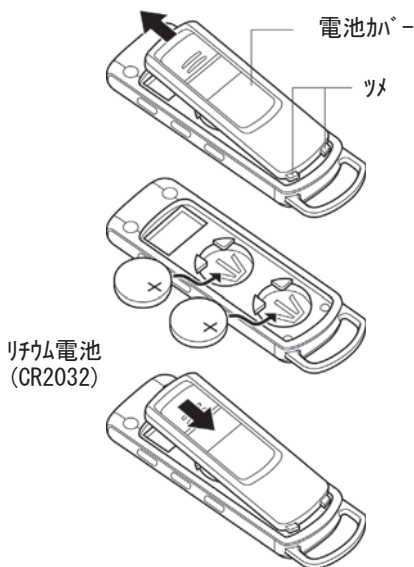
- ②新しい電池の+側が上になるように電池を交換します。
- ③電池カバーを元に戻します。

アドバイス

電池を交換する際は、2個とも交換してください。

⚠ 警告

電池はお子様の手の届かないところで保管してください。万が一飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。



9. 基本操作



注意

車両駐車時の確認事項

エンジン始動時の電装機器による事故や車両盗難を防止するため、駐車時には以下のことを守ってください。

パーキングブレーキを確実にかけてください。

シフトレバーを「P」位置にしてください。

アドバンストキーが車内にないことを確認してください。

すべてのドアと窓を閉めてください。

ドアを施錠(ロック)してください。

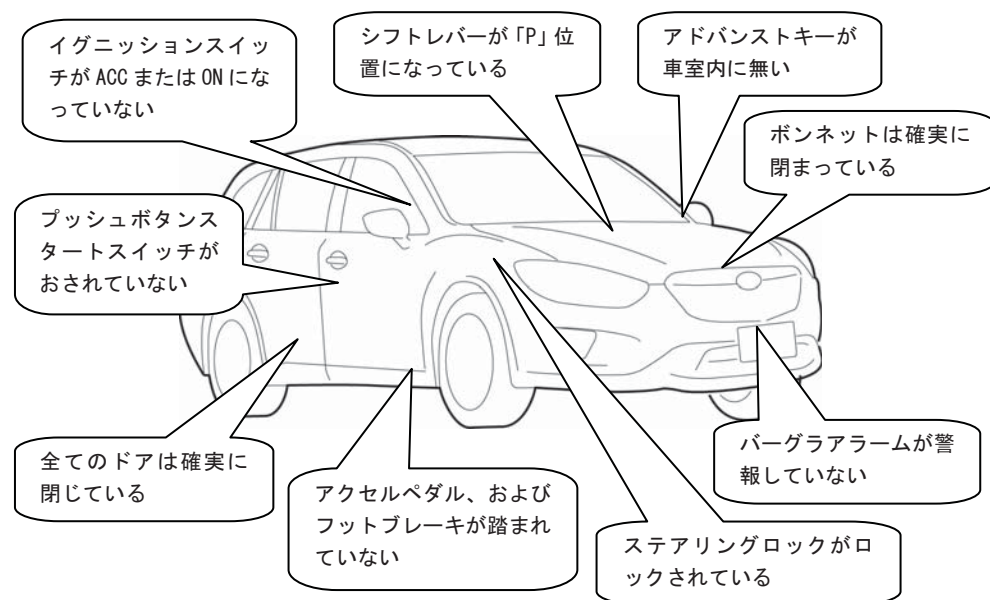
ボンネットを閉めてください。

ワイパーは「OFF」にしてください。

ステアリングロックがロックされていることを確認してください。

エンジン始動の条件

リモコンエンジンスターターをご使用になるときは、必ず事前に下記の始動条件を確認してください、1つでも条件が満たされていないと、危険と判断して作動しないようになっていますので、リモコンを操作してもエンジンは始動しません。



知識

- ハイブリッド車では、アクセルペダルが踏まれていてもエンジンを始動できます。

9-1. エンジン始動操作

①ファンクションスイッチを短く 1 回押します。

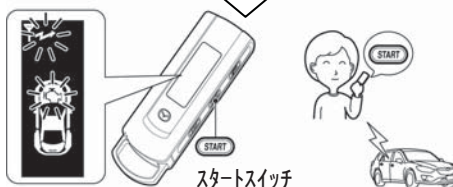
液晶表示が右図のようになります。

アドバイス

液晶表示はスイッチを離した際に表示されます。



約
2
秒
以
内



②上記液晶表示中にスタートスイッチを音が鳴るまで押します。

送信マークが点滅し、送信完了です。そのままの状態(送信完了後)で、アンサーバックされます。

※液晶が表示されてから約2秒以内にスタートスイッチを押し始めてください。操作が間に合わず、液晶表示が消えてしまった場合は①からやり直してください。

リモコンが車両からの応答を受信し、表示とメロディ音でお知らせします。



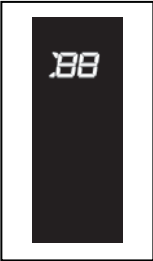
アドバイス

- エンジン始動操作後、自動的に2~3回アンサーバックされます。
- 通信エラーの場合は、2回目以降のアンサーバックはされません。
- エンジン始動の条件が満たされていない場合は、
エンジン始動出来ません。⇒p.14
- オートワイパー機能付き車は、リモコンでエンジンを始動したときに、ワイパースイッチが「AUTO」の位置にあり、かつ雨が降っていてもワイパーは作動しません。
- 車両の純正バグアラームをセットした後に、リモコンでエンジンを始動しても、バグアラームは動作を継続し、セット状態を維持します。そのため、ドアが開くなどの警報条件が成立すると警報を行います。ただし、リモコンでエンジンが始動した後にバグアラームをセットすることは出来ません。

エンジン始動操作時の液晶表示

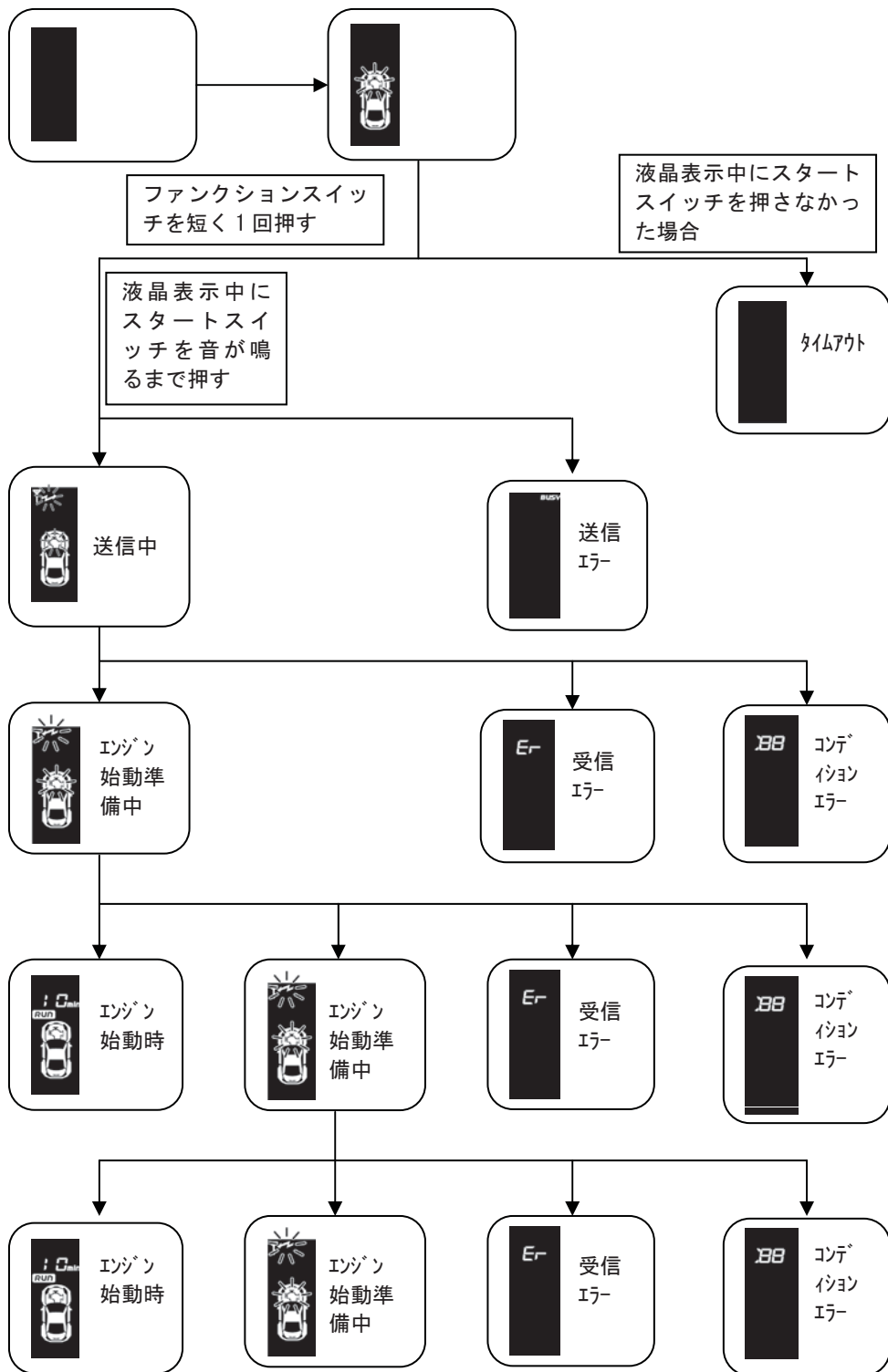
スイッチ操作、車両の状態、電波の状態によって、液晶表示が以下のように変わります。

コンディションエラー表示 (安全検知表示内容)
車両の状態により安全検知機能が作動した場合、液晶モニターに以下の表示がされます。その場合は、もう一度車両状態をご確認ください。



エラー表示

表示	内容	対処方法
A1	車両通信エラー	エンジン始動を再度行っても本内容が表示される場合は、ご購入のマツダ販売店にご相談ください。
A2	リモコンエンジンスターター登録エラー	
A3	リモコンエンジンスターター認証エラー	
A4	車両側の要因によるエラー	
IC	ACC、IG が既に ON	電源ポジションを OFF にしてください。
E	エンジン回転数異常	アクセルペダルが踏み込まれていないかご確認ください。
EC	エンジンが始動しない	バッテリーが弱っている、またはガソリンが減っている可能性があります。バッテリー電圧や燃料計をご確認ください。
Er	受信エラー	車両との距離が離れすぎている場合は、車両に近づいて操作してください。 リモコンと車両の間に建物等の障害物がある場合は、見通しの良い場所に移動するか、車両に近づいて操作してください。
H	ボンネットが開いている	ボンネットを確実に閉めてください。
HC	ステアリングロックがロックされていない	ステアリングロックがロックされているかご確認ください。
S	プッシュボタンスタートスイッチが押されている	プッシュボタンスタートスイッチが押されていないかご確認ください。
SC	アドバンストキーが車室内にある	アドバンストキーが車室内にないかご確認ください。
D	いずれかのドアが開いている	全てのドア(リアゲートを含む)を確実に閉めてください。
DC	バーグラアラームが警報状態になっている	バーグラアラームが警報していないかご確認ください。
P	シフトレバーが「P」の位置でない	シフトレバーを「P」位置にしてください。
PC	フットブレーキが踏み込まれている	フットブレーキが踏み込まれていないかご確認ください。
t	温度センサ外れ	温度センサのコネクタが外れている、または断線しているので、ご購入のマツダ販売店にご相談ください。



9-2. エンジン停止操作

この操作によりエンジンを停止できるのは、リモコンでエンジンを始動した場合のみです。

- ①ストップスイッチを音が鳴るまで押します。

液晶表示が右図のようになります。送信マークが点滅し、送信完了です。そのままの状態(送信完了後)で、アンサーバックされます。



リモコンが車両からの応答を受信し、表示とメロディ音でお知らせします。



エンジン停止



送信エラー



受信エラー

知識

- 安全検知機能 (p. 16) が作動したことによりエンジンが停止した場合は、コントローラーのブザーが吹鳴します。

●その他のエンジン停止条件

以下条件のうちいずれかでエンジンが停止します。

- ①ボンネットをあける。
- ②シフトレバーを「P」以外の位置にする。
- ③ドアを開ける。
- ④プッシュボタンスタートスイッチを押す。
- ⑤設定した暖機時間が経過した。
- ⑥ブレーキペダルを踏む
- ⑦アクセルペダルを踏み、規定のエンジン回転数を超える。
- ⑧車両通信エラーが検知された。

知識

- 車両のプッシュボタンスタートスイッチによりエンジンを始動した場合、リモコンでエンジンを停止することは出来ません。
- リモコンでエンジンを始動し、そのまま車両の走行を開始することは出来ません。走行を開始する場合は、一旦エンジンを停止させ、車両のプッシュボタンスタートスイッチでエンジンを再始動させてください。

9-3. 暖機残り時間チェック

この操作により暖機残り時間を確認できるのは、リモコンでエンジンを始動した場合のみです。

- ①ファンクションスイッチを短く1回押します。

液晶表示が右図のようになります。

アドバイス

液晶表示はスイッチを離した際に表示されます。



液晶表示中

- ②上記液晶表示中にスタートスイッチを音が鳴るまで押します。

送信マークが点滅し、送信完了です。そのままの状態(送信完了後)で、アンサーバックされます。



※液晶が表示されてから約2秒以内にスタートスイッチを押し始めてください。

操作が間に合わず、液晶表示が消えてしまった場合は①からやり直してください。

リモコンが車両からの応答を受信し、以下の表示とメロディ音でお知らせします。

- ・ 暖機残り時間は?
(2分毎の時間(偶数値)を表示します。)
- ・ エンジンが始動しているか?
- ・ リアデフォグが作動しているか?

【表示参考例】



- ・ 暖機残り時間 8分
- ・ エンジン始動中
- ・ リアデフォグー停止

知識

- ・ ハイブリッド車の場合、リモコンエンジンスターターでのエンジン始動中はハイブリッドシステムがエンジンを停止している場合でもリモコンに「RUN」マークが表示されます。

9-4. 車両状態チェック

この操作はリモコンでエンジンを始動する前、始動した後のどちらでも行えます。

①ファンクションスイッチを音が鳴るまで押します。

液晶表示が右図のようになります。
送信マークが点滅し、送信完了です。そのままの状態(送信完了後)で、アンサーバックされます。



リモコンが車両からの応答を受信し、表示とメロディ音でお知らせします。

確認出来る項目は下記3項目です。

- ・ エンジンが始動しているか?
- ・ 車室内温度は何度か?
- ・ リアデフォッガーが作動しているか?



【表示参考例】

知識

- ・ 表示温度はあくまでも目安です。実際の温度とは車両の駐車状態によって異なる場合があります。
- ・ 一部車種では15分でリアデフォッガーが停止します。
- ・ コンディションエラーは表示されません。
- ・ ハイブリッド車の場合、リモコンエンジンスターターでのエンジン始動中はハイブリッドシステムがエンジンを停止している場合でもリモコンに「RUN」マークが表示されます。



車室内温度 23°C
エンジン始動中
リアデフォッガー作動時



車室内温度 23°C
エンジン停止中

9-5. 暖機時間の設定

暖機時間を 10 分または 30 分のいずれかに設定することができます。

出荷時の設定は 10 分となっています。

＜例＞

暖機時間の設定を 10 分から 30 分に変更する場合

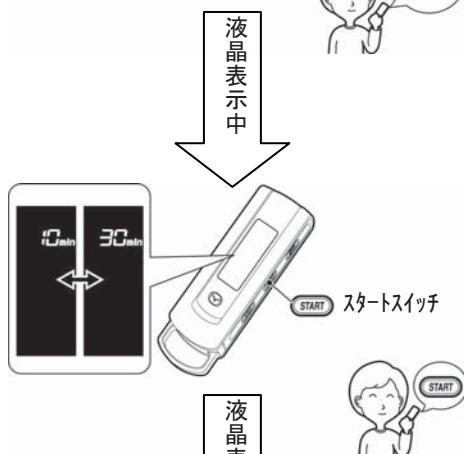
①ファンクションスイッチとスタートスイッチを音が鳴るまで同時に押します。

現在の設定時間が表示されます。



②スタートスイッチを短く押し、設定時間を決めます。

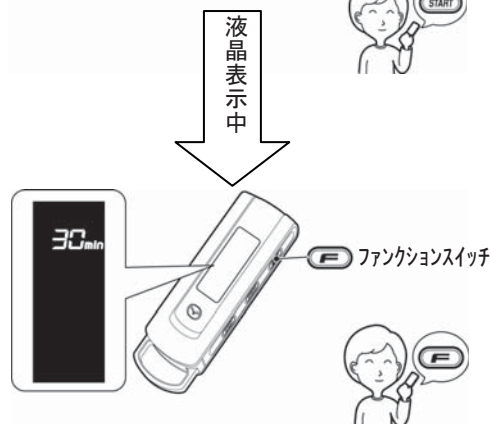
設定時間と「min」が点灯します。



③ファンクションスイッチを音が鳴るまで押します。

知識

一部車種では暖機時間を 30 分に設定した場合でも、15 分でリアデフォグが停止します。



⚠ 注意

環境保護、省エネ、周りに迷惑をかけないためにも、必要以上のアイドリングは行わないでください。

9-6. エンジン始動【+リアデフォッガー強制作動】操作

この操作によりエンジンを始動すると、
リアデフォッガーが自動的に作動します。

①ファンクションスイッチを短く1回
押します。

液晶表示が右図のようになります。

アドバイス

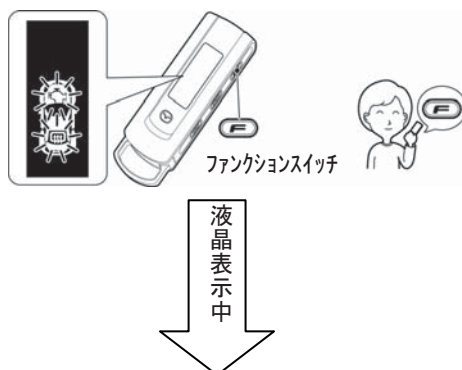
液晶表示はスイッチを離した際に表示されます。



②上記液晶表示中に、再度ファンクション
スイッチを1回短く押します。
リアデフォッガーマークが点滅します。

アドバイス

液晶表示はスイッチを離した際に表示されます。



③上記表示中にスタートスイッチを音
が鳴るまで押します。
送信マークが点滅し送信完了です。その
ままの状態(送信完了後)で、アンサーバ
ックされます。

※ 液晶が表示されてから約2秒以内に
スタートスイッチを押し始めてくださ
い。操作が間に合わず、液晶表示が消え
てしまった場合は①からやり直してく
ださい。



リモコンが車両からの応答を受信し、表示とメロディ音でお知らせします。

アドバイス

エンジンを始動させずにリアデフォッガー単独で作動させることは出来ません。



エンジン始動準備中



約 8～15 秒後



エンジン始動中

アドバイス

- エンジン始動操作後、自動的に2～3回アンサーバックされます。
- 一部車種では、リモコンエンジンスターターによるリアデフォッガー作動時に、車両インジケータは点灯しません。
- エンジン停止にてリアデフォッガーは自動的に停止します。
- 一部車種ではリアデフォッガーが作動してから15分経過後にリアデフォッガーは自動的に停止します。

知識

この操作でエンジン始動した場合、リアデフォッガーが強制的に作動しますが、p. 15に記載のエンジン始動操作でエンジンを始動した場合でも、エンジン始動時の車室内温度が5℃以下であれば、リアデフォッガーが作動します。

9-7. カーファインド機能

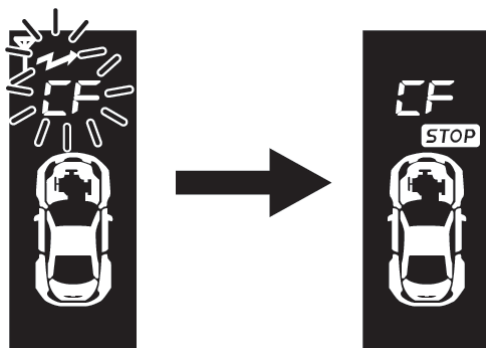
エンジンが停止しているとき、またはリモコンでエンジンを始動した後に、この操作を行うと、車両のハザードランプが2回点滅作動します。

①カーファインドスイッチを音が鳴るまで押します。

液晶表示が右図のようになります。送信マークが点滅し、送信完了です。そのままの状態(送信完了後)で、アンサーバックされます。



リモコンが車両からの応答を受信し、表示とメロディ音でお知らせします。



知識

車両のハザードスイッチを押してハザードを点滅させているときは、カーファインド機能によるハザードランプ点滅作動は行われません。(ハザードスイッチによるハザードランプ点滅が優先して作動します。)ただし、その場合でも、リモコンは上記と同じ表示とメロディ音により車両との通信が完了したことをお知らせします。

10. 故障かな?と思ったら

- 故障かなと思われる前にもう1度確認してください。
- 異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読みいただき、下表の点検をしてください。それでも不具合がある場合は、自分で修理なさないで、車両または本用品をご購入のマツダ販売店へご相談ください。

症状	確認内容	対処方法
リモコンが動かない	電池は正しくセットされていますか？	電池の状態を確認してください。 (p. 13 を参照してください。)
	電池は消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。 (p. 13 を参照してください。)
	誤って他のスイッチを先に押したり、複数のスイッチを同時に押していませんか？（暖機時間の設定操作を除く）	誤作動防止のため、正しい操作順でないとリモコンは動作しません。基本操作の項目を参照して正しいリモコン操作をしてください。 (p. 14 を参照してください。)
	他の操作でリモコンから送信後、すぐにリモコンを再操作していませんか？	リモコンが送信している時や車両からのアンサーバックを受信している時に液晶モニターの表示が出ている間は、次の送信ができません。液晶モニターの表示が消えてから操作してください。 (p. 12 を参照してください。)
リモコン操作でエンジンがかからない	リモコンでのエンジン始動操作を誤っていませんか？	誤作動防止のため、正しい操作方法でないとリモコンは動作しません。正しい操作方は p. 15 の「エンジン始動操作」を参照してください。
	ファンクションスイッチやスタートスイッチを押す際に、他のスイッチを先に押したり他のスイッチと同時に押していませんか？	他のスイッチを先に押したり、他のスイッチと同時に押さないでください。
	エンジン始動条件は満たしていますか？	エンジン始動の条件を確認してください。 (p. 14、p. 16 を参照してください。)
	エラー表示のアンサーバックがありましたか？	p. 16 の「コンディションエラー表示」を参照してください。
	ハイブリッド車ではありませんか？	車両条件によりエンジン始動しない場合があります。

症状	確認内容	対処方法
リモコン操作でエンジンを始動した後、リモコンでエンジン停止操作をしていないのにエンジンが停止する	p. 19 に記載の「●その他のエンジン停止条件」のうちいずれかが成立していませんか？	p. 19 に記載の「●その他のエンジン停止条件」のうちいずれかが成立すると、エンジンは停止します。
	ハイブリッド車ではありませんか？	車両条件によりエンジン停止する場合があります。
リモコン操作でエンジンを始動すると、ヘッドライトやテールライトが点灯する	ライトスイッチが「AUTO」位置ではありませんか？	ライトスイッチが「AUTO」位置にあるときにリモコンでエンジンを始動すると、夜間など周囲が暗い環境では、車両のオートライト機能によりヘッドライトやテールライトが点灯します。
リモコン操作でエンジンを始動したときに、ワイパースイッチが「AUTO」の位置で雨が降っていてもワイパーが作動しない	—	リモコンでエンジンを始動したときは、ワイパースイッチが「AUTO」の位置にあり、かつ雨が降っていても、ワイパーは作動しません。
リモコン操作でエンジンを停止しない	リモコンでのエンジン停止操作を誤っていませんか？	正しい操作方法でないとリモコンは動作しません。正しい操作方は p. 18 の「エンジン停止操作」を参照してください。
	ストップスイッチを押す際に、他のスイッチを先に押したり他のスイッチと同時に押していませんか？	他のスイッチを先に押したり、他のスイッチと同時に押さないでください。
	本リモコンエンジンスターター以外でエンジンを始動していませんか？	本リモコンエンジンスターター以外でエンジンを始動した場合は、リモコンでのエンジン停止はできません。
暖機残り時間チェックができない	リモコンでの暖機残り時間チェック操作を誤っていませんか？	誤作動防止のため、正しい操作順でないとリモコンは動作しません。正しい操作方は p. 20 の「暖機残り時間チェック」を参照してください。
	ファンクションスイッチやスタートスイッチを押す際に、他のスイッチを先に押したり他のスイッチと同時に押していませんか？	他のスイッチを先に押したり、他のスイッチと同時に押さないでください。
	本リモコンエンジンスターター以外でエンジンを始動していませんか？	本リモコンエンジンスターター以外でエンジンを始動した場合は、暖機残り時間チェックはできません。

症状	確認内容	対処方法
リモコンに表示される暖機残り時間と実際にエンジンが停止するまでの時間が異なる	—	暖機残り時間は2分刻みで表示しますので、実際の時間とは異なる場合があります。
車両状態チェックできない	リモコンでの車両状態チェック操作を誤っていませんか？	誤作動防止のため、正しい操作順でないとリモコンは動作しません。正しい操作方法は p. 21 の「車両状態チェック」を参照してください。
	ファンクションスイッチを押す際に、他のスイッチを先に押したり他のスイッチと同時に押していませんか？	他のスイッチを先に押したり、他のスイッチと同時に押さないでください。
車両状態チェックするとリモコンに「t」と表示される	—	ご購入のマツダ販売店にご相談ください。
リモコンに表示される温度と実際の車室内温度が異なる	—	表示温度はあくまでも目安です。実際の温度とは車両の駐車状態によって異なる場合があります。
エンジンがかかっている状態なのに、リモコンに「RUN」マークが表示されない	リモコンエンジンスターター以外でエンジンを始動していませんか？	リモコンエンジンスターター以外でエンジンを始動した場合は、リモコンに「RUN」マークは表示されません。
エンジンがかかっていない状態なのに、リモコンに「RUN」マークが表示される	ハイブリッド車ではありませんか？	リモコンエンジンスターターでのエンジン始動中はハイブリッドシステムがエンジンを停止している場合でもリモコンに「RUN」マークが表示されます。
暖機時間の設定ができない	リモコンでの暖機時間の設定操作を誤っていませんか？	誤作動防止のため、正しい操作順でないとリモコンは動作しません。正しい操作方法は p. 22 の「暖機時間の設定」を参照してください。
	ファンクションスイッチとスタートスイッチを同時に押す際に、他のスイッチを先に押したり、他のスイッチと同時に押していませんか？	他のスイッチを先に押したり、他のスイッチと同時に押さないでください。

症状	確認内容	対処方法
リモコン操作でリヤデフォッガーが作動しない	リモコンでのエンジン始動【+リアデフォッガー強制作動】操作を誤っていませんか？	誤作動防止のため、正しい操作順でないとしリモコンは動作しません。正しい操作方法は p. 23 の「エンジン始動【+リアデフォッガー強制作動】操作」を参照してください。
	ファンクションスイッチやスタートスイッチを押す際に、他のスイッチを先に押したり他のスイッチと同時に押していませんか？	他のスイッチを先に押したり、他のスイッチと同時に押さないでください。
	p. 15 に記載の「エンジン始動操作」によりエンジンを始動した後、エンジンがかかっている状態で、再度「エンジン始動【+リアデフォッガー強制作動】操作」を行いましたか？	通常の「エンジン始動操作」によりエンジンを始動した場合は、リモコンでリヤデフォッガーを作動させることができません。一度エンジンを停止してから、「エンジン始動【+リアデフォッガー強制作動】操作」を行ってください。
	リモコンでエンジンを始動してから約 15 分経過しましたか？	リモコンでエンジンを始動してから約 15 分後にリヤデフォッガーは自動停止します。
p. 15 に記載の「エンジン始動操作」によりエンジンを始動したにもかかわらず、リヤデフォッガーが作動する	車室内温度は低い（約 5℃以下）ですか？	通常の「エンジン始動操作」によりエンジンを始動した場合でも、エンジンが始動した時の車室内温度が 5℃以下であれば、自動的にリヤデフォッガーが作動します。
リモコンでリアデフォッガーを作動させたとき、車両のリヤデフォッガー作動表示ランプが点灯しない	—	一部車種では、リモコン操作によりリヤデフォッガーが作動していても、車両のリヤデフォッガー作動表示ランプは点灯しません。

症状	確認内容	対処方法
カーファインドができない	リモコンでのカーファインド操作を誤っていませんか？	誤作動防止のため、正しい操作順でないリモコンは動作しません。正しい操作方法は p. 25 の「カーファインド機能」を参照してください。
	カーファインドスイッチを押す際に、他のスイッチを先に押したり他のスイッチと同時に押していませんか？	他のスイッチを先に押したり、他のスイッチと同時に押さないでください。
	車両側の電源ポジションが ON になっていませんか？	電源ポジションが ON の状態では、カーファインドは作動しません。
	車両のターニングナルスイッチによりターニングナルランプが点滅作動中ではありませんか？	車両のターニングナルスイッチによりターニングナルランプが点滅作動中は、カーファインドによるハザード点滅作動はしません。
リモコンの作動距離が短い	電池は消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。 (p. 13 を参照してください。)
	車との距離が離れすぎていませんか？	車両に近づいて操作してください。
	リモコンと車両の間に建物等の障害物がありますか？	見通しの良い場所に移動するか、車両に近づいて操作してください。
液晶モニターに「Er」が表示される(受信エラー)	電池は消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。 (p. 13 を参照してください。)
	車との距離が離れすぎていませんか？	車両に近づいて操作してください。
	リモコンと車両の間に建物等の障害物がありますか？	見通しの良い場所に移動するか、車両に近づいて操作してください。
	液晶モニターに「Er」が表示されたときのリモコン操作が「エンジン始動操作」の場合、エンジンは始動しましたか？ (「カーファインド操作」の場合、ハザードランプが点滅しましたか？)	電波の受信環境が変化した場合がありますので、見通しの良い場所に移動するか、車両に近づいて操作してください。 周囲の電波状況によりコントローラーからの送信が規制されている場合があります。 (p. 12 を参照してください。)
液晶モニターに「BUSY」が表示される(送信エラー)	—	周囲の電波状況によりリモコンからの送信が規制されています。液晶モニターの表示が消えてから再度リモコンの操作をしてください。 (p. 12 を参照してください。)

11. アフターサービス

調子が悪いときはまずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも改善しない場合は、車両または本用品をご購入のマツダ販売店にご相談ください。リモコンを紛失したときは、車両または本用品をご購入のマツダ販売店にお問合せください。

12. 諸元

リモコン

適合規格	ARIB STD-T67
送信周波数	429MHz 帯
通信方法	単信方法
動作温度範囲	-10～+60℃
使用電池	コイン型リチウム電池 CR2032×2 個
電池寿命	約 1 年(エンジン始動を 5 回/日とした場合。ただし、同梱した電池では電池寿命は保証できません。)
寸法	30×97×19 (mm)
重量	約 50g (電池含む)

コントローラー

適合規格	ARIB STD-T67
送信周波数	429MHz 帯
通信方法	単信方法
動作温度範囲	-40～+85℃
定格電圧	DC13.5V
待機時消費電流	3mA 以下
寸法	201×46×26 (mm) (アンテナを含む最大寸法)

仕様および外観は、予告なく変更する場合がございます。

取付け店殿へのお願い

必ずお客様に操作要領をご説明ください。

- 車両、製品の仕様などの変更により本書の内容と一致しない場合がありますのでご了承ください。